

第38回佐賀県高等学校バスケットボール春季選手権大会

女子決勝（佐賀北 対 清和）

決勝戦は昨年と同カードの佐賀北と清和高の対戦。序盤は清和高が 13 古川を中心にリードするが、佐賀北は 13 松尾の 3 P 等で流れを掴むと、 4 奥澤の存在感あるインサイドプレー等で逆転しその後リードを保ち 61 対 47 で勝利。昨年につづき優勝を飾った。

第 1 P、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。佐賀北 4 奥澤がインサイドプレーで先制、すると清和高は 17 安心院がシュートを決め返す形でスタート。序盤、両者探りあいのゆっくりとした展開、中盤にかけても両者譲らぬ攻防がつづく。結局、清和高 13 古川の頑張りで 14 対 11 の清和高 3 点リードで終了。

第 2 P、序盤から両者、ターンオーバーが多く得点が伸びない。中盤に入ると清和高 9 内田、 13 古川のシュートで引き離しにかかる。対し佐賀北も応戦し、清和高が 29 対 22 の 7 点差リードで前半終了。

第 3 P、序盤から徐々にオフェンスのリズムがでてきた佐賀北は 13 松尾の 3 P 等で 31 対 30 の 1 点差に詰め寄る。さらに中盤に入り佐賀北は 4 奥澤のインサイドの頑張りで波に乗り 34 対 31 と逆転。終盤、相譲らぬ一進一退の攻防で佐賀北 42 対 39 の 3 点差のリードで終了。

第 4 P、序盤お互いターンオーバー等のミスが多く得点が伸びない。しかし、中盤、佐賀北はまたもや 4 奥澤の存在感のあるインサイドプレー等で 50 対 41 と引き離す。残り 2 分、清和高は流れを変えようと 4 武藤を再投入するが、結局 61 対 47 の 14 点差で昨年につづき佐賀北が勝利した。 陣内（佐賀県バスケットボール協会 / 623 文字）

決勝戦はこれまで順当に勝ち進んできた佐賀北対清和のゲームが行われた。両チーム共、一步も引かない好ゲームであったが最後は佐賀北が粘りを見せ、勝利を収めた。

第 1 P はお互いに一步も譲らない攻防が続く。佐賀北 4 奥澤、 5 ~ 3 P で先攻する。一方清和は佐賀北のゾーンディフェンスを攻めきれなかったが 17 ~ のシュートで流れをつかみ続く 4 ~、 13 ~ の連続シュートで 11 - 14 とリードし第 2 ピリオドへ

第 2 P、両チーム共思うような組み立てができない中、佐賀北のマンツーマンディフェンスに対し清和のドライブシュートで少しずつ点差を広げるも佐賀北 7 ~ の 3 P で詰め寄る。しかし、佐賀北はシュートミスで苦しみ 22 - 29 で前半を終わる。

第 3 P は佐賀北の早いパス回しで攻撃のリズムをつかみ 7 ~、 13 ~ のミドルシュートで 1 点差、さらに 5 分 4 ~ のゴールしたシュートで逆転に成功するも清和も 9 ~ のシュートで再逆転と両チーム一進一退の攻防が続く。残り 1 分、佐賀北 6 ~ の 3 P で再度逆転し 42 - 39 と佐賀北リードで終わる。

第 4 P、佐賀北 13 ~ のシュートが決まりその焦りから清和はパスがかみ合わずミスが連続する。その間、佐賀北 4 ~ の連続シュートにより 55 - 43 と 12 点差とリードを広げる。最後は佐賀北の時間を使って確実にシュートを決め佐賀北が 61 - 47 で昨年に続き観桜大会を制覇した。 山口田鶴子（小城高校 / 581 文字）

女子決勝戦は、新人戦と同じカードの清和高と佐賀北高との戦い。佐賀北高は前回のリベンジを果したい所。序盤、清和高がリードしていくが、持前のプレーが見られず粘りあるディフェンスと確実にシュートを決めていった佐賀北高が61対47で勝利した。

第1P、互いにハーフマンツーマンディフェンスでスタート。清和高は、13を中心として得点を重ねていくが、パスミスが目立ち本来のプレーができていない。一方、佐賀北高は4、5を中心にしっかりと決めていく。このP、14対11で清和高リードで第2Pへ。

第2P、追いつきたい佐賀北、突き放したい清和高。しかし、佐賀北は、開始そうそう8の得点で詰め寄るが、清和高も、早い展開で相手ディフェンスをかわし、得点を重ねる。このP、互いに譲らず29対22で清和高リードで後半へ。

第3P、佐賀北は、粘りあるディフェンスで清和高のオフェンスに当たり中々シュートを決めさせない。残り3分同点に追いつく。ノータ임佐賀北の6が3Pを決め次のPへつなぐいい終り方で42対39佐賀北リードで第4Pへ。

第4P、佐賀北はしっかりと時間を使いながら着実に得点を重ね、清和高は本来の調子を戻せないまま終ってみれば、佐賀北が61対47で勝利した。

徳川（佐賀県バスケットボール協会 / 523文字）

春季選手権大会決勝は予想通りの顔合わせで清和と佐賀北の対戦。最後まで粘り強くプレーした佐賀北が61 - 47で勝利し、栄冠を勝ち取った。

第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンの激しい攻防でスタート。ともに堅さが見られるが、清和は13古川のみドルシュートを中心にポイントを重ねた。一方、佐賀北もチャンスでシュートを決め、清和リードの14 - 11で終了。

第2P、お互い一進一退の攻防で、厳しいディフェンスのプレッシャーから両チームとも得点できない苦しい状況。清和は9内田、13古川がドライブインやみドルシュートを冷静に決めるが、流れはつかめない。29 - 22の混戦のまま前半終了。

第3P、清和が先制しスタートするが、佐賀北は7中島のドライブインと3Pで勢いづく。4奥澤のゴール下のシュートで逆転に成功。そのまま4奥澤の活躍でポイントを重ね流れを確実につかんだ。終了直前には佐賀北6岸川の3Pで39 - 42で終了。

第4P、佐賀北は4奥澤の連続シュートで一気に清和を突き離れた。清和は必死に追いつこうとするが、シュートは決まらない厳しい状況。そのまま佐賀北が得点を重ね、61 - 47で勝利を収めた。

正司（武雄高 / 501文字）

第2シード佐賀清和高校と第1シードの佐賀北高校との決勝戦。早い展開からの得点を得意とする両者の戦いとなったが佐賀北が自分たちの持ち味を生かし、47 - 61で優勝した。

第1P両者ハーフコートマンツーマンでスタート。出だし佐賀北4奥澤のみドルシュート、5深通の3Pでリードするが徐々に清和のリズムを掴み13古川のインサイドを中心に得点を重ね14 - 11清和3点リードで第2Pへ。第2P両者序盤はインサイド、中盤以降はドライブインで得点を重ねていき、どちらもゆずらない試合展開が続く。前半終了間際佐賀北7中島の3Pで流れを掴んだかと思われたが、すかさず清和14緒方

が得点し29 - 22の清和リードで終了。

第3P、清和 4武藤のカットインシュートでスタートするも佐賀北が 7中島の連続得点で波に乗り12点連続得点で逆転する。終盤両者とも一進一退の攻防を続けるが佐賀北 6岸川の3Pが決まり39 - 42佐賀北3点リードし第4Pへ。第4P、清和はオールコートマンツーマンに変え流れを引き戻そうとするがミスが続き得点を伸ばすことができない。逆にインサイドとアウトサイドをうまく使い着実に加点していった佐賀北が47 - 61の14点差をつけ勝利した。
原 理津子（佐賀県バスケットボール協会 / 516 文字）

決勝は清和对佐賀北高の対戦。前半、ドライブインなどで得点した清和がリードしたものの、第4Pを制した佐賀北高が清和を下し優勝した。

第1P、両者ハーフマンツーマンでゲーム開始。北高 4奥澤のミドルシュートで先制。一進一退の攻防が続くが終盤清和 13古川のミドルシュートが決まり、11対14清和4点リードで終了。第2P、清和ドライブインを中心にオフェンスを展開。得点を重ねる。一方佐賀北高はリズムを掴めず中盤得点が止まる。22 - 29清和がリードを広げ後半へ。第3P、佐賀北高は 7中島 13松尾の3ポイントで一気に逆点とする。その後両者ともに一足も引かない攻防が続く。佐賀北高 5深町の3ポイントが決まり、3点リードとし39 - 42で第4Pへ。開始から佐賀北高が流れをつかむ。中盤得点が止まった清和に対し佐賀北高 4奥澤のミドルシュートで着実に得点を重ね、この試合最大の10点以上のリードをうばう。終盤清和はドライブインからフリースローを得るも、点差を縮めることができず、47 - 61佐賀北高が勝利した。 古賀 良子（佐賀女子高校 / 447 文字）

第1シードの佐賀北と第2シードの清和高との決勝戦。前半はリバウンドに優る清和高がリードしたが、後半は佐賀北が厳しいディフェンスで逆転し、試合を制した。

第1P、両チームともハーフコートマンツーマンでゲーム開始。序盤、佐賀北は 4奥澤のミドルシュート、 5深通の3Pでリードするが、清和高も 17安心院、 4武藤のミドルシュートで追い上げ、残り3分からリバウンドをほとんど制し、14対11清和高リードで第2Pへ。

第2P、第1Pとほとんど同じ展開でゲームが進む。清和高は 6野田のドライブイン、 9内田のミドルシュート等で得点を重ねる。佐賀北はオフェンスのリズムがなかなか掴めず得点が伸びないが残り1分に 7中島の3Pが決まり、29対22清和高リードで後半へ。

第3P、佐賀北は厳しいハーフコートマンツーマンディフェンスを展開し、ポストへのパスをカットする。攻撃では、 4奥澤のミドルシュート、 13松尾の3Pで得点を重ねる。清和高はパスがつながらず得点が伸びない。42対39と佐賀北が逆転し第4Pへ。

第4P、第3Pの後半からの流れが変わらず、清和高はパスがつながらずシュートまで行けない。残り5分からオールコートマンツーマンで必死の追い上げを図ったが、佐賀北は 4奥澤の速攻やミドルシュート等で点数を広げ、61対47の14点差で勝利した。

碓（鳥栖工 / 566 文字）

佐賀北高と清和高との決勝戦。清和高が前半リードしていたもの、後半から佐賀北高がリズムを掴み追い上げた。結果61 - 47で見事佐賀北高が逆転を果たし勝利をおさめた。

第1P、両者ともにハーフコートマンツーマンからスタート。序盤から両者一進一退の攻防が続く、終盤清和高 13 古川が立て続けにシュートを決め、11 - 14 と清和高リードで第2Pへ。

第2Pも同様、両者譲らぬ展開が続く。佐賀北高は、好ディフェンスであるが、オフェンスがリズムよくシュートができない。対する清和高は果敢にルーズボールを奪い相手にチャンスを与えない。結果22 - 29で清和高がリードを保ち前半を終了した。

第3P、序盤佐賀北高は、3Pを連続で決め、オフェンスに勢いづく。中盤から 4 奥澤のインサイドプレイで追い上げ、最後に 6 岸川の3Pが見事決まり、42 - 39で佐賀北高が逆転し、第4Pへ。

第4P、流れは佐賀北高に傾き、着実に得点を重ねていく。一方、清和高はなかなか得点が伸びない。懸命に追い上げよう攻めるが、佐賀北高は冷静にこれを阻止する。結果61 - 47と差は開き、佐賀北高が勝利した。 山田 真也（唐津青翔高校 / 473 文字）

宿命のライバル同士の決勝戦。前回優勝の佐賀北が、#4 奥澤の攻守にわたる大活躍で後半逆転して連覇を果たした。

第1P、互いにハーフコートマンツーマンでスタート。序盤は両チーム共に硬さが見られたが、佐賀北は#4 奥澤、#5 深通の連続得点で先行する。一方、清和も#13 古川のポストプレイで応戦し11対14 清和3点リードで終了。

第2Pに入っても硬さがとれない両チーム、24秒オーバータイム等ミスが目立ち、22対29 清和7点リードで前半を終了。

後半に入り、清和は#4 武藤のシュートで先行したが、その後5分間ノーゴールが続く。その間に佐賀北は、#7 中島、#13 松尾の3点シュートや#4 奥澤のポストプレイでリズムよく得点し4分過ぎに逆転する。その後は一進一退が続いたが、佐賀北は、残り3秒で#6 岸川の3点シュートが決まり3点のリードを奪う好展開で、気分よく最終ピリオドへ。

第4P、清和はシュートが入らず5分間で2得点と苦しい立ち上がり。一方、佐賀北は、ガード陣の外角シュートやドライブイン、更に#4 奥澤の気迫溢れるインサイドプレイで着実に加点し徐々にリードを広げる。清和も#6 野田や#9 内田がドライブイン等で対抗したが、佐賀北の粘り強いディフェンスにインサイドを支配され、最後までリズムにのれず47対61で佐賀北に連覇を許した。 光武（唐津商 / 559 文字）

女子準決勝（佐賀北 対 伊万里商）

大会3日目、順当に勝ち上がった佐賀北と接戦の末勝ち上がった伊万里商の準決勝であったが、総合的に優る佐賀北の勝利で決勝進出を決めた。

第1P、両チーム共にハーフコートマンツーマンでスタート。佐賀北 15 吉村のドライブインシュートで先制するが、伊万里商の激しいディフェンスに合い、イージーシュートミスが目立つ。一方伊万里商は 5 竹之下の1対1で応戦するが、良いシュートにつながらない。16対13の佐賀北リードで第1P終了。

第2Pにはいり、佐賀北厳しいディフェンスから速い攻撃展開でペースをつかもうとする。伊万里商、ディフェンスを崩せない中での1対1になり、得点にならない。伊万里商、残り4分31対17となったところでタイムアウトをとり、流れを変えようとする。逆に佐賀北速いパス回しから、6 5の3Pシュートを決め、突き放しにかかり、44対18で前半を終了。

第3P、佐賀北、主力を下げ、控え選手を投入。伊万里商、時折ゾーンプレスをしかけ、追い上げをはかろうとする。しかしシュートが単発に終り、得点が縮まらない。57対35で第4Pへ。

第4P、伊万里商最後までゲームを諦めず、当たりを強くしターンオーバーを誘うが一気に点差を縮めることができず、大きく流れを変えられないまま、内外の攻撃力に優る佐賀北83対53の勝利で終了した。

加々良（三養基高校 / 558 文字）

女子準決勝Aコートは、ウィンターカップ勝者の佐賀北高と伊万里商業との対戦となった。

第1ピリオドは、両者ハーフマンツーマンディフェンスでスタートする。15、16のドライブインシュートで佐北が序盤の主導権を握る。佐北のファールが重み、伊商がフリースローを得るも、決めることができず、16 - 13佐北3点リードで終了。

第2ピリオドは佐北が3Pで攻撃し、伊商は攻め手を欠き残り4分たまらずタイムアウト。終始ディフェンスリバウンドを制した佐北が44 - 18で終了。

第3ピリオドは、センター 10にボールを集めた伊商が挽回する。両者のターンオーバーが続くも、佐北 17が3Pシュート2本を決めるが、13 - 17と伊商が一矢報いた。

第4ピリオドは、佐北が選手層の厚さを見せつけ、残り5分から1 - 2 - 2のゾーンプレスディフェンスで差を拡げにかかった。すかさず伊商はタイムアウトをとるが、佐北の 16のミドルシュートが続けて決まり、さらに残り1分から佐北がオールコートマンツーマンディフェンスで締めくくった。選手層の厚さが際立った佐北が30点のリードを保ち、83 - 53で決勝へ進出した。

鬼塚哲之（佐賀県バスケットボール協会 / 482 文字）

女子の準決勝は、ウィンターカップの勝者佐賀北と伊万里商業との対戦となった。

第1ピリオドは両チームともハーフコートのマンツーマンディフェンスで始まった。まずは佐賀北の 15、16の連続のドライブインでスタートしたが、その後序盤は、お互い激しいディフェンスを攻めきれず思うように得点することができなかった。徐々に佐

賀北が速いパス回しでペースを掴んでいったが、終了間際に伊商 13 の 3 P で 16 - 13 の 3 点差においついた。

第 2 ピリオドに入り伊商は攻め手を欠き、淡泊な攻撃となってしまった。一方、佐賀北は 5 の 3 P など、外と中とのリズムの良いオフェンスで得点を重ね、44 - 18 と点差を広げ前半を終了した。

後半は佐賀北 7 の 3 P でスタートしたが、伊商が粘り強いディフェンスで流れを掴んだ。佐賀北のファールも重み、このピリオドは 4 点差で伊商が制した。

しかし、最終ピリオドに入ると、佐賀北は残り 7 分。5 分とたて続けにメンバーを総替え。オールコートで激しいディフェンスを展開し、伊商にボールを運ばせなかった。オフェンスでは、外からのシュートも決まり出し、83 - 53 で試合終了。全員で得点を重ねた。佐賀北が決勝進出となった。 鬼塚祐美子（佐賀県バスケットボール協会 / 503 文字）

準決勝、第 1 シード佐賀北対第 4 シード伊万里商業の一戦。スピードと個人技に勝る佐賀北が 83 対 53 で伊万里商業を下し、決勝戦へ進出。

第 1 P、両チーム、ハーフマンツーマンでスタート。お互い堅い守りで、シュートが決まらないスローな試合展開。オフェンリバウンドを制した佐賀北が 16 対 13 とリードし第 2 P へ。

第 2 P、堅い守りからリズムを作った佐賀北が、早いパス回しで、伊万里商業のディフェンスを崩し、連続得点で 44 対 18 とし第 3 P へ。

第 3 P、伊万里商業は、5 竹之下を中心に攻撃を組み立て得点を重ねる。佐賀北は 7 のパス回しから、3 P シュートで対抗。57 対 35 佐賀北リードで第 4 P へ。

第 4 P、流れを掴みたい伊万里商業は、ハーフコートプレスからチャンスを作り、差を詰めていくが、佐賀北は残り 5 分から、1 - 2 - 1 - 1 オールコートプレスでブレイクを連発。差を広げ、83 対 53 で試合終了。 永元正幸（佐賀県バスケットボール協会 / 371 文字）

優勝候補の佐賀北とシード校の伊商との戦いとなった女子準決勝は、総合力で勝る佐賀北が終始リズムを掴み粘る伊商を振り切り 83 対 53 で勝利し、決勝戦に勝ち進んだ。

第 1 P、両チーム共にハーフコートマンツーマンでスタート。佐賀北は、バランスよく攻め、伊商は 4、5 の 1 対 1 中心で攻めるものの、両チーム共に思うようにシュートが決まらずに一進一退の攻防が続き 16 対 13 で終了。

第 2 P、佐賀北はアウトサイドシュートが入らずにリズムに乗れない。一方、伊商は 2 - 3 ゾーンで流れを変えようとするも、佐賀北の厳しいディフェンスを崩すことができずに点差を縮められない。残り 4 分。佐賀北の 5、6 の 3 P が入ると流れを掴み一気に点差を広げ 44 対 18 で前半終了。

第 3 P、序盤から伊商はオールコートマンツーマン・ゾーンディフェンスと巧みにディフェンスを変え、リズムを掴み、4、5 の個人技で粘りを見せ、点差を縮めて 57 対 35 で終了。

第 4 P、佐賀北は伊商のディフェンスに苦戦し、ターンオーバーを連発するが、6 の連続得点で相手のリズムを立ち切り、オールコートゾーンでたたみかけ、一気に引きはなし、83 対 53 で佐賀北が勝利した。 堤（敬徳高校 / 497 文字）

佐賀北高と伊商高との対戦。勝敗の決め手となったのは第2P。ここで佐賀北高が点差を大きく広げリードした。後半は、リードを保ち83 - 53で佐賀北高が順当に勝利し、決勝進出を果たした。

第1P、両者ともハーフコートマンツーマンからスタート。佐賀北高 13松尾のドライブインと 16中原のインサイドプレイを中心に攻める。一方、伊万里商も譲らず、粘り強く応戦し、終盤に 11林が3Pを決める。16 - 13と佐賀北高リードで第2Pへ。

第2P、序盤佐賀北高 5深通の3Pからリズムを掴み、オフェンスに勢いがつく。伊商高は、相手の厳しいディフェンスにより攻めに苦しみ、たまたずタイムアウトをとる。しかし、流れは変わらず、44 - 18とここで佐賀北高が突き離し、前半を終了した。

第3P、開始早々佐賀北高が3Pを決め、さらに勢いづくと思われたが、伊商高開始2分でタイムアウトをとる。その後、 5竹之下のドライブインを中心に果敢に攻め、両者一進一退の攻防が続き、57 - 35佐賀北高リードで第4Pへ。

第4Pは、懸命に追い上げようとする伊商高に対し、佐賀北高はリードを保ち、結果83 - 53で佐賀北高が勝利した。

山田 真也（唐津青翔高校 / 489文字）

女子準決勝（清和 - 小城）

準決勝Bコートは順調に勝ち上がった清和と小城の対戦。前半は小城が健闘するが、後半得点を伸ばした清和が圧倒的な強さを見せて71 - 46で勝利し、決勝へ進出した。

第1P、清和はオールコートマンツーマン、小城はハーフの1 - 3 - 1のゾーン。中盤までは両チームとも点数が取れない苦しい激戦。ゲームが動いたのは残り4分、リバウンドを確実に取り、リズムをつかんだ小城が#13武富と#12陣内、#14竹内がうまく合わせ、ドライブインなどで連続して得点した。9 - 19の10点差で小城リードで終了。

第2P、勢いづいた小城は序盤で清和のオールコートプレスにやられ、3連続シュートを決められ、たまたずタイムアウト。逆に勢いが出てきた清和は#9内田を中心に落ち着いたプレーを見せ、主にドライブインからの得点を積み重ね、28 - 21で清和が逆転し、前半終了。

第3P、流れは清和のまま。清和は176cmの長身#14緒方のゴール下のシュート、#4武藤の3Pなど持ち味を生かし確実に点数を重ね、小城を大きく突き離れた。

第4P、清和の勢いは止まらず、オフェンスリバウンドもものにし、有利にゲームを進めた。小城は粘り強くプレーするも、精彩さはない。結局最後まで有利にゲームを進めた清和が71 - 46で大勝した。

正司（武雄高 / 533文字）

シード校として順当に勝ちあがって来た佐賀清和高と小城高による女子準決勝。スピードとディフェンスのあたりの強さにまさる佐賀清和高が決勝進出を決めた。

第1P、小城高校は2 - 3のゾーンディフェンス、佐賀清和高はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。前半、互いにシュートが決まらず、一進一退の展開。4分、小城はディフェンスが機能し、#12陣内、#14竹内が着実に加点。19対9と小城高がリードして、第1Pを終えた。

第2P、佐賀清和はオールコートマンツーマンでスタート。小城はボール運びで苦労し、自らの攻撃の形をつくれずターンオーバーを連続、清和#9内田、#18豊福が得点した。8分

、小城はタイムアウトをとるも流れをかえることはできず、6分に清和が逆転、21対28と清和がリードを広げて、第2Pを終えた。

第3P、小城は#4豊田を中心に粘りをみせるが、清和も#14緒方らが着実に加点、31対50と清和がさらにリードを広げて第3Pを終えた。

第4P、小城は#12陣内がインサイドで粘り強く攻撃を試みるが、清和ディフェンスのマークも厳しく思うように得点できない。清和は外からのシュートも決まりだし、結局、46対71で勝利をおさめた。

篠寄一也（鳥栖商 / 512文字）

2月の九州大会準優勝で波に乗る清和と古豪復活を目指す小城の対戦。自力に勝る清和が、変則ディフェンスで粘る小城を突き放し、順当に決勝進出を果たした。

第1P、両者ハーフコートマンツーマンでスタートするが、小城は直に2-3ゾーンに変える。これが功を奏し、清和はオフENSリバウンドが獲れず得点が伸びない。一方、小城は、#12陣内のゴール下や#14竹内のドライブイン等でリズムよく得点し、9対19と10点差をつけ終了する。

第2Pに入り、小城はハーフコートマンツーマンに戻す。清和は、この機にリズムを取り戻し、#9内田のドライブイン等で一気に得点した。守っても、オールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、このピリオドは19対2と小城を圧倒し、7点のリードを奪い前半を終了する。

後半に入り、小城はハーフコートマンツーマンと2-3ゾーンの併用で対抗するが、清和はセンター陣のコンビプレイや#4武藤の3点シュート等でバランスよく加点し、19点差で最終ピリオドへ。

第4P、小城も最後までオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ粘りを見せたが、清和は冷静なゲーム運びで小城の追隨を許さず、46対71で快勝した。

光武（唐津商 / 499文字）

男子準決勝（佐賀東 - 佐賀西）

第1シードから順調に勝ち上がってきた佐賀東と、8シードから激戦を制し勝ち上がり勢いにのる佐賀西の準決勝。総合力に勝る佐賀東が75対54で佐賀西を降し決勝へ進出した。

第1P、両チームともにオールコートマンツーマンでスタートし、互角の立ち上がり。佐賀東のセンター#11池田の力強いゴール下で確実に得点を重ねる。一方佐賀西は、#8福井の1対1を中心にゲームを組み立て、得点を重ね、20対19で終了。

第2P、佐賀西は#8福井を中心に攻めるがシュートがリングに嫌われ、苦しい展開に。その間佐賀東は#10荒巻、#12坂井の計4本の3Pと速攻で一気に点差を広げ、41対32で前半終了。

第3P、出だし両チーム共に得点が止まり我慢の展開。佐賀東は#14小森のドライブインから粘る佐賀西の厳しいディフェンスを切り崩しにかかる。一方佐賀西はターンオーバーが続きなかなか流れにのれず58対40で終了。

第4P、佐賀西は追い上げをはかるべき粘りのディフェンスとオフェンスリバウンドにも積極的にかからむが、佐賀東は中と外からバランスよく攻め、確実に点差を広げる。走力に勝った佐賀東が走り勝ち、粘る佐賀西を75対54で勝利した。 江口智徳（唐津商 / 497文字）

前回大会優勝の佐賀東とシード校を破って勢いのある佐賀西との対戦は自力に勝る佐賀東が77対54で勝利し決勝進出を決めた。

第1P出だしから両チームともにスピードとパワーあふれるバスケットを展開する。佐賀東は#11池田の3連続シュート、佐賀西は#8福井の3Pシュートと持ち味を出す。両者譲らず20対19で第1Pを終了した。

第2P佐賀東は#10荒巻の3Pシュート、#12坂井のドライブインで空き放しにかかる佐賀西はたまたずタイムアウト、しかし流れは逆らわず逆に点差は開く。41対32と佐賀東がリードして前半を終了した。

第3Pペースを掴んだのは佐賀東。#4白武、#14小森を中心にドライブインと3Pシュートを織りませ一気にたたみかけ56対35とする。佐賀西はアウトサイドシュートがきまらず5分間ノーゴール。58対40で最後ピリオドを迎えた。

第4P何とか追い上げたい佐賀西は#4壇の連続ジャンプシュートで反撃するが、佐賀東の流れるようなパス回しと、確率の高いアウトサイドシュートと持ち味を十分に出した佐賀東が勝利を収めた。 金岩（白石高校 / 456文字）

男子準決勝Aコートの佐賀東対佐賀西は、終始安定した試合運びを見せた佐賀東が佐賀西を破り、決勝に駒を進めた。第1P、佐賀東は#11池田がリバウンドをよくひろい、セカンドチャンスをものにする。佐賀西も#4壇、#8福井を中心にバランスよく攻めるが、佐賀東#14小森のドライブインに対してファウルでしか止めきれず、フリースローを着実に決められてしまう。第2P中盤まで一進一退の攻防が続くが、佐賀西のタイムアウト後に佐賀東が#12坂井、#14小森の4連続得点で一気に点差を2桁とする。終盤佐賀西は#8福井ノバスケットカウントで何とか1桁差にして前半を終了する。第3Pに入ると佐賀西はミスが多くなり、佐賀東の厳しいディフェンスに苦しいシュートを打たされる場面が多くなる。これに対して佐賀東は

、#4白武、#10荒巻、#14小森がドライブイン、3P、フリースローを決め、58対40とさらに差を広げる。第4P序盤、相変わらずオフェンスのリズムが悪い佐賀西は、タイムアウトで何とか流れを取り戻そうとする。その後は#4壇が連続してミドルシュートを決めるなど意地を見せるが、佐賀東は#10荒巻、#11池田などで着実に得点を重ね、77対54で勝利した。

池田（唐津工 / 514文字）

男子決勝（佐賀北 - 佐賀東）

第1シード・第2シード共に順調に勝ち上がってきた佐賀東、佐賀北の決勝戦。シュート力に勝った佐賀北が前大会の雪辱を果たし優勝を勝ち取った。

第1P、両チーム共にマンツーマンでスタート。佐賀北はエース#14大峰の連続3Pで先制。それに対し佐賀東は#10荒巻のドライブイン、3Pで応戦。序盤から点の取り合いとなり、バランスよく攻める佐賀東に対し、佐賀北は#14大峰のシュート力で対抗し互角の立ち上がりで20対19で終了。

第2P、両チーム共にディフェンスをひきしめ、我慢の展開に。佐賀東は#12坂井が佐賀北#14大峰をタイトなディフェンスで封じ込め、佐賀北の得点を止める。佐賀北はセンター陣#の気迫あるリバウンドと粘りあるディフェンスから、佐賀東の攻撃を食い止める。わずかなチャンスをものにした佐賀北が点差を広げ35対29で前半終了。

第3P、佐賀北は引き続きセンター陣の踏ん張りでリズムを掴み試合をリードする。それに対し佐賀東は#11池田がゴール下で粘り、必死に食い下がるもターンオーバーを連発し、残り2分30秒でタイムアウトを取りオールコートマンツーマンで流れを変えようとするが、佐賀北は落ち着いて対処し点差は縮まらず55対43で終了。

第4P、佐賀東は激しいディフェンスと#11池田にボールを集め追い上げをはかるも、佐賀北のシュート力の前に点差は縮まらず65対55で佐賀北が勝利した。

江口智徳（唐津商 / 588文字）

新チームとなり3度目となった両者の対戦は、佐賀北が佐賀東を65対55で破り、第1シードの座を奪い返した。

お互い速い展開も得意だが、知り尽くした相手ということもあり、ハーフコートでのゆっくりした展開でスタートした。序盤から佐賀北#14大峰が爆発し、第1Pだけで3P3本を含む15得点とその高いシュート力を見せつけるが、佐賀東は#4白武、#10荒巻を中心にアウトサイドとインサイドバランスよく攻め、リードを奪う。しかし、第2Pに入ると、佐賀東はシュートが入らなくなり得点が伸びない。一方佐賀北は#15川内のインサイドなどで逆転に成功し、38対29で前半を終える。第3Pに入っても佐賀北は#7松尾、#14大峰、#15川内、#17船津とバランスよく安定して得点を重ねる。一方佐賀東は#11池田がインサイドで奮闘し、一進一退の攻防が続く。第4Pに入っても同じような展開が続く中、今ひとつ波に乗れない佐賀東がタイムアウトを取り、流れをつかもうとする。しかし、この後お互いに全くシュートが入らなくなり、お互い約5分間得点が入らない重い展開が続く、そのままリードを保った佐賀北が勝利を収めた。池田（唐津工 / 488文字）